

令和5年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第3講座を開催して】

8月21日（月）、美東センターにおいて、令和5年度美祢市人権教育ふれあい講座（第3講座）を開催しました。

『同和問題』をテーマに、山口短期大学児童教育学科 教授 加藤 浩久（かとう ひろひさ）氏から、「人権教育の推進について」と題して御講演いただきました。



教科書記述の変遷についてお話いただき、私たちが学校で教わってきた内容

が、新しい見識によってアップデートされていることを知ることができました。また、山口県における同和問題の歴史について詳しく教えていただき、この問題の背景を含め、改めて同和問題への理解を深めることができました。御講演をとおして、常に学び続けることの大切さと、正しい知識に基づいて物事を見る必要性を感じることができました。

これからも正しい知識と新しい情報を得る機会を大切にしながら、すべての人が自由で安心した暮らしができる社会をめざしていきたいと思います。

【受講者の主な感想】

- 昔自分が学校で習った内容と今は変わっていることを知ることができ、良かったと思う。
- 思った以上に面白かったです。
- 知らないことを知れてよかった とても分かりやすく歴史が分かりました。
- 教科書で習う程度の知識しかなかったため、大変参考になった。
- 身分制度について差別されていた人の生活が全て貧しかったわけではないことを知ることができた。また、自分の中では百姓=農業に携わる者という認識でいたが、そうではないということも知ることができた。正しい知識に基づいて物事を見る必要性を感じた。
- 教科書記述について知識のアップデートができていなかったため、大変勉強になりました 改めて知る知識もありとても興味深いものだった。
- 部落の成り立ちに対して江戸時代以前は必ずしも悪い環境では無かったのはとても関心があった。

- 同和問題もですが、時代が進み、歴史解釈も変わることがあることを、改めて知りました。毎年勉強する必要があることを改めて感じました。
- 長い歴史の中で、いまだに解決に至っていないこの問題は、難しい問題であり、苦しんでいる人が現在もいることを、気付かされました。
- 今までと違った角度から同和問題を聞かせてもらえたと思います。
- 先入観と違い歴史から入られたのはよかったが肝心のエタひにんをどう分けたのかがわからなかった。
- 同和問題の歴史的背景等が、改めてよくわかりました。最近わかってきたことをしるのも大事だと思いました。
- 過去の教科書と今のものが大きく変わっていることに改めて驚かされました。
- 昔に学んだ歴史が少しずつ変更されており、大変勉強になりました。時間が短く、もう少し人権に踏み込んだ話も聞きたかったです。
- 教科書の記述とともに、教職員が伝える影響力を考え、子どもたちが真に考える力を育てていかなくていけないと思いを新たにすることができました。
- 歴史的な経緯がよくわかった。
- 歴史を振り返るととても良い勉強になりました。沢山のことを教えていただきました。今、教わる歴史は私が昔習ったものとは大きく異なっているものがあることに驚きました。何百年も前に存在した身分制度を引きずってきた日本の悪しき風習を恥じるべきだと思います。こんな不条理な差別、決して許されないことです。
- 理解しやすい内容だった 学校で習った事とあまりにも違いがあり驚きました。知る機会があり良かったと思います。
- 同和問題に関わる教科書の記述内容の変遷についてのお話が大変参考になった。
- 歴史的な背景が知れてよかった。新事実であっても結局一方的に差別が生まれたのは変わらず、絶対に差別は無くすべきだと改めて思った。
- もっと多くの方に受講していただきたい。